



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

# 日本共産党荒川区議会議員 齊藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@cn-catv.ne.jp 区議会: http://www.jcp-arakawakugidan.jp/  
くに子ブログ: http://s-kumiko.jugen.jp/



2024年2月4日 No.1345号

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



## ★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

# 2月26日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コムバス花の木停留所前)

Tel. Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

## 町屋コミバスの代替案 デマンド交通実証実験



### 昨年7月3日から12月末までの予約は91件

#### 実証運行の実績

運行日数 123日

登録者数 131名

予約件数 91件

利用者数 102名

一日当たり 0.83人

1月25日に荒川区地域交通会議第7回が開催され、「町屋デマンド交通実証実験」と「現在運行中のさくら・汐入さくらの減便」についての報告がありました。

区報・ホームページ・ケーブルテレビ・SNS発信、沿線自治会説明・案内チラシ6千部配布・病院や高齢者施設のチラシ配置(400枚)初回無料乗車券付チラシ配布(1000部)高齢者イベントでチラシ配布などを行ってPRしました。しかし一日20名を目標

に掲げましたが、2日～3日に一人か二人利用する程度です。

デマンド交通予算700万円を組みましたが、区の歳出はもっと増えることになります。3月で実証運行は終了です。

町屋さくらに補助金を出して継続していた方が、区民のためになったと改めて思います。

## 3月1日からさくら・汐入さくらの大幅減便

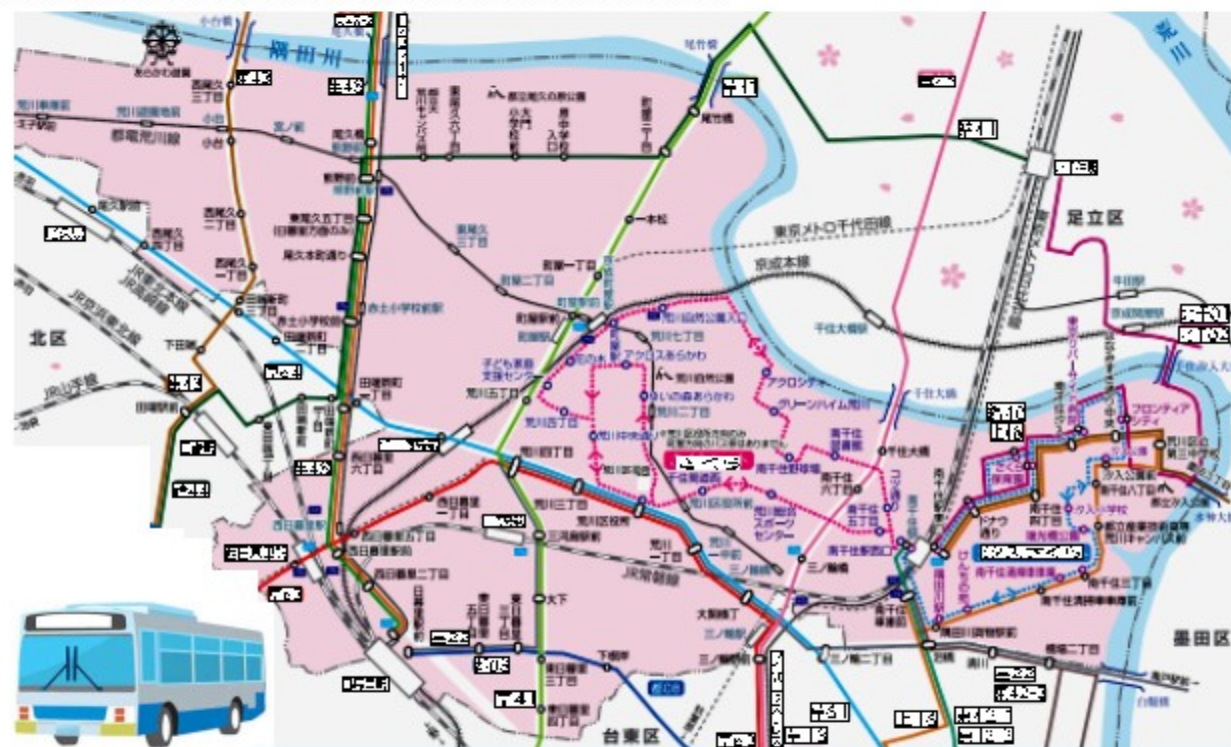


慢性的な運転手不足に加え、4月からの運転手の労働時間などの基準改正で、現状の便数維持が困難として、現在運行しているさくらの大幅減便が提案されました。

さくら左回りは一日9便減(最終便南千住発21:15→19:35)右回りは16便も減便(最終便南千住発20:56→19:00)です。汐入さくらも東口発が9便・西口発が10便の減、地域交通会議で「利用者が置き去り」とのご意見が出されましたが、まさにその通りです。

前回の見直しでも、減便が行われ「とても不便になった」「一便乗り遅れると何十分もバス停で待たなければならず雨の日風の日、猛暑の夏は大変」の声が多かったのです。地域交通を守るのが自治体の役割ではないでしょうか。

さくら	(左回り)		(右回り)	
	現状	提案	現状	提案
6時台	1便	1便	1便	1便
7時台	3便	3便	1便	なし
8時台	2便	2便	1便	2便
9時台	2便	1便	2便	1便
10時台	2便	2便	1便	
11時台	2便	2便	2便	
12時台	2便	1便	1便	
13時台	2便	2便	2便	なし
14時台	2便	2便	1便	
15時台	2便	2便	2便	
16時台	2便	1便	1便	
17時台	2便	1便	2便	1便
18時台	2便	1便	1便	なし
19時台	2便	1便	2便	1便
20時台	2便	なし	2便	なし
21時台	1便		なし	



荒川区の交通網を改めてみました。10km<sup>2</sup>の狭い荒川区ですが、メトロ、JR、京成、都電、都バス、日舎線、つくばエクスプレスが走り、どこに行くにも便利な区と言われている。

しかし交通不便地域がやはりある。さくら・汐入さくらの減便ではなく生活スタイルに合わせた便数の検討・町屋さくらの復活とさらに町屋、尾久、日暮里地域の空白地域の地域交通網の整備を検討することは上記の区内交通マップを見ても明らか。

コムバスは「事業者の自主運行」として区は補助金を一切出していません。地域交通会議でも京成バスやバス協会から「国や行政の支援が必要」との意見が出されている。

運転手不足が懸念される「2024年問題」に伴い、足立区で3路線コミュニティーバス3路線廃止、区は残る9路線維持のため一部路線で赤字額を負担する方針を出した。

赤字分の補助をしている台東区や文京区のコムバスも昨年10月から一部減便になっている。運転手の賃金大幅アップと処遇改善は、国・自治体あげて早急に対応しなければならない課題だ。



# 認可保育園4月入園の一次申し込み状況

認可保育園の4月入園一次申し込み状況発表されました。全体では申し込み数は昨年より71名増加の1,440名。4,5歳児は横ばい、0,2歳児20~30名程度増加で、1歳児はなんと約100名も増で各地域で募集枠を超えた申込に。3歳児は約30名減少。

地域	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者	募集枠	申し込み内定者
南千住	92	68 59	144	168 132	42	26 24	43	18 18	43	6 4	33	3 3	397	289 240
荒川	58	66 56	87	121 86	41	21 21	44	16 14	16	8 8	18	1 1	264	233 186
町屋	60	52 44	85	88 70	23	15 13	11	11 10	7	2 2	11	2 1	197	170 140
東尾久	42	50 46	69	96 77	11	20 16	18	13 13	21	3 3	22	2 2	183	184 157
西尾久	43	29 25	57	92 70	17	20 16	15	11 11	8	3 3	19	0 0	159	155 125
東日暮里	62	62 49	61	108 81	17	27 23	13	24 17	10	3 3	38	0 0	201	224 173
西日暮里	59	50 44	84	98 65	19	18 13	20	18 14	20	1 1	17	0 0	219	185 137
合計	416	377 323	587	771 581	170	147 126	164	111 97	125	26 24	158	8 7	1620	1440 1158

募集枠1,620で入園不承諾は282名に。地域別に見ると南千住の内定率97%・荒川80%・町屋82%そして西日暮里が74%です。

4月入園はしないが「育休延長」を会社に申請するために「不承諾証明」が必要な方を除いても、

100名以上が不承諾になっているようです。



今後、申込変更や認証保育園や保育ママの利用などを除いて「保育園入れず」の方がどうなるか、最後まで、親身な入園相談が必要です。

区は需要に応えるために保育園の大規模化・定員緩和を行ってきましたが、定員を元に保育士を増やし、子どもたちがのびのび育つ環境整備に力を尽くします。

荒川区の新年度予算などを審議する2月会議が、2月15日(木)~3月14日(木)まで

## 2/15~区議会2月会議がはじまります

開催されます。

日本共産党区議団は、新年度予算編成も検討し、能登半島地震も受けて震災対策・公的サービスの拡充や地域交通、区民の健康などを取上

2月15日(木) 9:30 全員協議会、10:00 本会議 (一般質問)
20日(火) 10:00 本会議 (一般質問)
21日(水) 10:00 総務企画、福祉・区民委員会
22日(木) 10:00 文教・子育て支援、建設環境委員会
27日(火)~3月11日(金) 10:00~ 予算特別委員会 (全8回)
3月14日(木) 9:30 全員協議会、10:00 本会議

げ、3名が本会議質問を行う予定です。ご意見をお寄せください。

# 2月都営住宅の募集

募集戸数は1,871戸。今回は家族向けポイント募集(ひとり親・高齢者世帯・心身障害者世帯・多子世帯・低所得者世帯・車いす世帯)と抽選募集(单身・シルバーピア・車いす世帯)となっています。

荒川区内の募集は左記のとおりで、全体ではポイント方式募集は家族向け1,255戸・車いす世帯35戸。抽選方式は单身など一般募集427戸・病死等空室住宅154戸となっています。

都営住宅24年間 新規建設ゼロ。都営住宅の申込者が多数いるにも関わらず、東京都は24年間も、都営住宅の新規建設はゼロです。

経済的理由だけでなく、一人親、高齢者、障害者など、様々な要因から、公営住宅を必要としています。

加えて40代前後の就職氷河期世代や、シングル女性、若者にも住宅困窮は広がっています。

都営住宅住建設促進で経済効果も。超高層の民間大型再開発事業より、住宅の建設は、大きな地域経済波及効果もあります。

また住宅費の家計に占める割合は大変高く、入居できれば負担が軽くなり、消費に回り、経済の好循環をつくり出すことができます。日本共産党都議団は、都営住宅建設の都民的大運動を広げようと、申込者の実態調査を行います。

☆ポイント方式 一般住宅

入居人数	地区番号	住宅名	戸数
◆2人以上	18001	南千住八丁目第2	1
	18002	南千住八丁目第2	1
◆3人以上	18003	南千住四丁目	1
	18004	南千住八丁目第4	1
	18005	南千住六丁目第2	1

☆ポイント方式 再開発住宅

◆2人以上	00073	南千住八丁目	3
	00074	南千住八丁目第5	1

☆抽選方式 シルバーピア

1人	615	南千住四丁目	2
----	-----	--------	---

☆抽選方式 病死等空き室

1人	244	東日暮里一丁目	1
----	-----	---------	---

☆抽選方式 病死等空き室・改良住宅

1人	327	荒川八丁目	1
----	-----	-------	---

### 2023年年11月都営住宅募集入居者募集

地区	入居人数	地区番号	住宅名	募集戸数	募集総戸数
荒川区	1~2人	18001	東日暮里一丁目	4	70.0
荒川区	1~2人	18002	東日暮里一丁目	1	35.0
荒川区	2人以上	18101	東日暮里一丁目	4	8.3
荒川区	2人以上	18102	南千住二丁目	5	4.4
荒川区	2人以上	18103	西尾久八丁目	1	38.0
荒川区	2人以上	18104	南千住八丁目第2	6	9.8
荒川区	3人以上	18105	南千住八丁目第4	2	20.0
荒川区	5人以上	18106	南千住四丁目	2	5.0

都営住宅建設の都民的大運動を広げようと、

郵送申込  
★申込配布 2月1日(木)~9日(金)  
区役所・区民事務所・ふれあい館・ムーブ町屋などで配布  
★ポイント方式は「都営住宅募集センター」  
2月16日18時までに・抽選方式は「渋谷郵便局」2月16日までに必着。抽選番号は3月14日ハガキ発送

ネット申込  
申込期間2月1日~16日(金)  
までに都営住宅入居者募集サイト内で申込み完了したもの  
サイトのサービス提供時間は午前5時30分から翌午前1時00分まで。最終2月16日の申込受付は午後11時59分まで。抽選番号は3月11日メール配信